

インフルエンザウイルス×新型コロナウイルス

予防接種でリスクを減らそう！

全国的にもこの飯田下伊

那地域もコロナのピークを一旦は越えつつあります。新型コロナウイルスの接種は北部5町村で8割以上の接種率となっており、日頃からの感染予防対策に加えて皆さんのコロナワクチンへの意識の高さが伺えます。



インフルエンザの動向

さて、10月からはインフルエンザワクチンの接種が始まります。昨年は接種希望者が非常に多かったにも関わらず結局インフルエンザは全く流行せずに終わった

感染管理認定看護師

中山 秀明



のはご存じの通りです。そのため、今年のインフルエンザワクチンはどうしようか迷っている方も多いと思います。

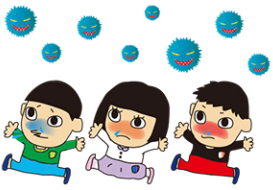
インフルエンザワクチンは接種した方がよい？

今年も皆さんには是非インフルエンザワクチンを接種していただきたいと思えます。

昨年インフルエンザが流行しなかったのは、新型コロナウイルスによるソーシャルディスタンス、マスク装着や手指衛生（手の消毒・手洗い）の徹底という要素や、国際的な人の移動の減少という要素が

大きかったと思われま
す。今年で
すが、今の
ところ南半
球ではイン
フルエンザは流行していない
ようです。日本でも緊急事態宣言等で人との接触機会が減っている状態です。この状態を考えると、やはり今年もインフルエンザは流行しないのではと考えることが自然だと思えます。ただ本当にそうなるのかは誰にもわかりません。

今年の6〜7月に子供たちの間でRSウイルスが大流行しました。本来RSウイルスは9月ごろに流行を起すウイルスですが、



今年は2か月も早く流行し、その規模は想像以上でした。このように、ウイルスの流行のメカニズムはなかなか単純なものではなくまだまだ分からないことが数多くあります。

また、昨年インフルエンザが流行しなかったことが懸念点に挙げられる考え方もあります。昨年はほぼ全ての方がインフルエンザに罹患していません。実はその前のシーズン（2年前）も流行は小さいものでした。そのため2年間に渡って感染により免疫をつけるといった機会が奪われています。これはインフルエンザが流行する世の中になつてからは初

